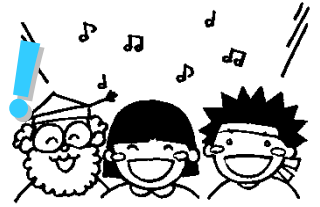


9月

# はつまつ 尾久六っ子!



## 4年生

### 下田臨海学園に行ってきました!

7月29日(土)~31日(月)に、2泊3日の下田臨海学園に行きました。天候にも恵まれ、無事に2日間海に入ることができ、充実した学園での生活を過ごすことができました。1日目の海は、プールとは違う海水の塩辛さにびっくりしたようでしたが、すぐに慣れ、水かけっこやタッチゲームをしたり、先生方に海に投げてもらったりして楽しく過ごしました。また、夜は浜辺に行き、花火をしました。尾久六オリジナルの打ち上げ花火は、迫力満点で子供たちからも歓声が上がりました。2日目は、午前中は海に入り、その後浜辺で美味しいスイカを食べて過ごし、午後海に入りました。夜のレクも大変盛り上がりました。3日目は潮だまりにいる生き物たちと磯遊びをしました。また、足湯にも入りました。初めての宿泊行事に緊張している子もいましたが、みんな一生懸命に係の仕事をし、下田の海を満喫することができました。



## 図書

### マイブックカードにご注目!!

学校司書 中野香織

今年度からトレジャーランド前の掲示板にマイブックカードを掲示しています。緑色の貸出ファイルが置いてあるすぐそばの掲示板です。学年ごとに掲示する担当月が決まっています。7月から夏休みの間は2年生のマイブックカードが掲示されています。カラフルで丁寧に描かれた絵も添えてあり、思わず読んでみたくなるような素敵な作品ばかりです。読んでみたい本があれば声をかけてくださいね。トレジャーランドに入国するときには是非マイブックカードの掲示を見てください。きっとお気に入りの一冊が見つかると思います。



10月には先生たちのマイブックカード作品を掲示します。どんな本と出会えるでしょうか。お楽しみに!!

## 給食

### 食育をとおして



栄養士 佐々木冬萌

こんにちは、栄養士の佐々木です。今年度も1学期に食育の一貫として、体験活動を実施しました。5月は、2年生が「さやえんどうのさやむき体験」3年生が「そらまめのさやむき体験」、7月は1年生が「とうもろこしの皮むき体験」をそれぞれ行いました。どの食材もその日の給食に登場しました。「尾久六小のみんなが食べるから、頑張って!」と言うと、どの学年の児童もはりきって取り組んでいました。給食の時間には、みなさん嬉しそうに食べていました。また、本当は豆が苦手だけど、今日は頑張って食べていたという子もいました。体験活動をとおして、少しでも食への関心や食事に対する感謝の心が育くまれるとよいなと思います。

## 算数

### 算数サンバ

算数少人数 北嶋慶次郎

算数は系統性のある学習です。1年生で習ったことを生かして、2年生の問題を解くことがあります。3年生ではわり算を習いますが、2年生で習ったかけ算を基本に、解き方を考えたり、問題を解いたりします。かけ算ができないと、わり算を解くのが難しいことは想像できると思います。だから、その学年で分からないことがあると、次の学年に上がったときに、分からないこと、できないことが増えてしまいます。したがって、算数はひとつひとつの学習をしっかりと行って欲しいと思います。算数科室に来る児童の中には算数に苦手意識をもっている児童がいます。しかし、算数には今まで習ったことを生かして、問題を解いたり、難しい問題が解けるようになったり、計算が速くなったり、日常生活で生かすことができたりと、沢山の喜びが溢れています。少しでも算数が好きになったり、できることが増えてくれると嬉しいです。

## 音楽

### 音楽の授業は何のため？

音楽 井上奈々

将来みんなが音楽家になるわけでもないのに、どうして学校には音楽の授業があるのでしょうか。楽しいから？息抜きのため？皆さんはどう思いますか？私は、学校で音楽を学習することでこんな力を育むことができると考えています。

♪音楽を聴いて特徴や気分を感じ取り、想像する力 ♪感じ取ったこと、伝えたい思いをもとに、どのように音楽表現し伝えるかを工夫する力 ♪合唱、合奏、音楽づくりなど、友達と協力してつくりあげる力 ♪思うように歌えない、演奏できないなど、うまくいかないときもあきらめずに繰り返しチャレンジすること ♪日本や外国の文化を知り、親しむ・尊重すること等々…

音楽を学習する中で身に付く力は、生きていく上でとても大切なことばかりです。2学期は音楽会。子供たちの力、音楽の面白さや美しさに触れて感動できる豊かな心を育みながら、「音を楽しむ会」にしていきたいと思います。ご家庭でもぜひ励ましの声掛けをよろしくお願いいたします。

## 図工

### 多様な鑑賞で育まれる感性

図工 武田恵美

図工の学習では、題材に合わせていろいろな鑑賞活動を取り入れています。つくる活動中は夢中になって自分の表現を楽しんでいます。それと同じように、頑張った成果を発表することで、友達からかけられる言葉に喜び姿が多く見られます。とくに低学年では作品と自分とが一体となるような感覚でいるため、できた作品を持ちながらお互いに作品を紹介するなど、体を動かしながら鑑賞に取り組むこともあります。近年、美術館では「対話型」の鑑賞が取り入れられており、作者の意図や美術史的な視点から作品を理論的に理解する前に、自由な言葉を紡ぐことで作品世界へ入っていきとされています。ご家庭でも、持ち帰った作品に関してぜひ「対話」を取り入れてみてください。子供の発言から新しいものの見方がみつかるといいかもしれません！



## 保健

### 「できた！」という喜びが、もっと頑張る力に。

養護教諭 五十嵐順子

曇り空が多かった夏休みですが、屋上のプールでは子供たちの元気な声が響いていました。顔に水につけることがやっとだった子ども、毎日通ってくるうちにもぐれるようになったり、ふし浮きができるようになったりします。普段は保健室にいる私も、毎年プール当番になるたび、手を持ってバタ足の練習を手伝ったり、「がんばれ、あと5m！」と子供たちを応援したりしています。特に、初めて25mを泳ぎ切ったときの最高の笑顔を見ることは、何より楽しみなひとときです。水泳に限らず、うんていを最後まで渡ることができたり、さかあがりができたり、自転車に乗れるようになったりと、今までできなかったことができた瞬間のうれしさは、子供の心を強くしてくれると思います。コツコツ練習して「ついにできた！」という喜びと、「やったね！よかったね～」と一緒に喜んでくれる人がいることが、自己肯定感を高め、また次に頑張る力につながっていくでしょう。おうちでも夏休みに頑張ってきたことを、ぜひ一緒に喜んであげてください。